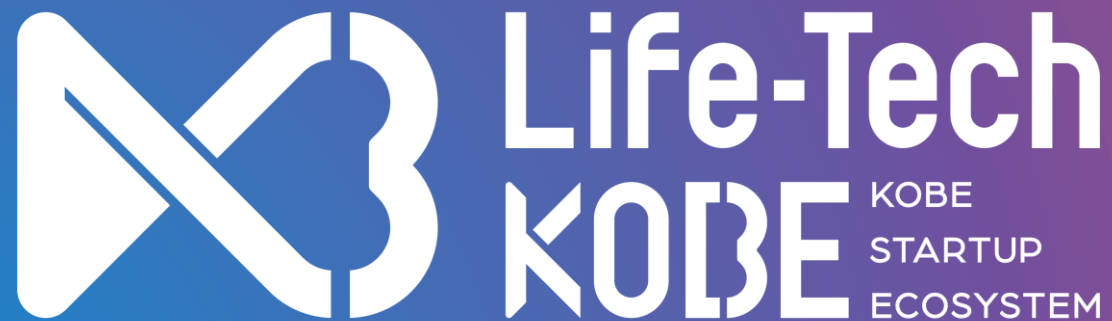


神戸市における イノベーション創出に向けた取組み



本日の内容

- 1) 自己紹介
- 2) スタートアップとは？
- 3) なぜスタートアップを支援するのか
- 4) 神戸市のスタートアップ支援
- 5) 実際の働き方

自己紹介



企画調整局 医療・新産業本部
新産業部 新産業課 係長 齊藤 祐一

2011年 神戸大学国際文化学部卒
神戸市入庁（税務部門配属）

2014年 広報部門
#シティプロモーション
#ブランディング
#マスコミ・報道

2019年 都市銀行へ出向
#サステナブルファイナンス
#法人営業
#ベンチャーキャピタル

2021年 新産業課
#スタートアップ支援

本日の内容

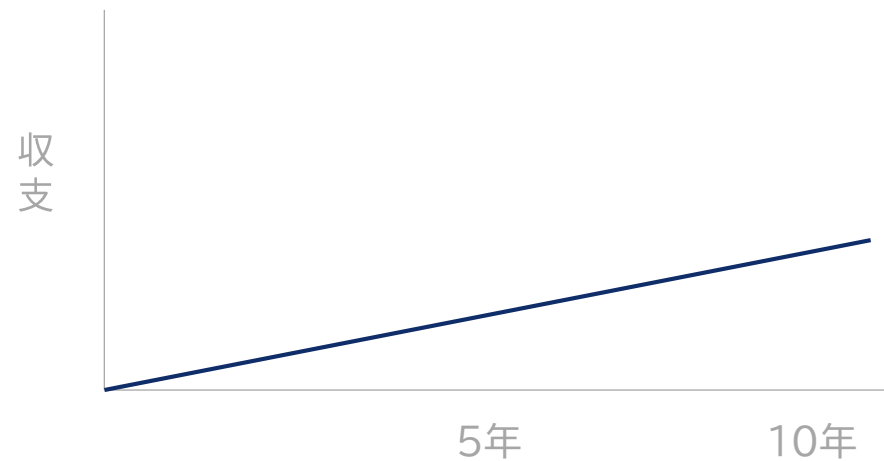
- 1) 自己紹介
- 2) スタートアップとは？**
- 3) なぜスタートアップを支援するのか
- 4) 神戸市のスタートアップ支援
- 5) 実際の働き方

スタートアップとは

起業の中の一つの形態

スタートアップとは

スモールビジネス



- ✓ **既存/限定的**な市場で、着実な成長を目指す
- ✓ **融資**による資金調達
 - 例) レストラン・美容院・雑貨店など

スタートアップ



- ✓ 革新的なアイデアやテクノロジーを持ち、**新たな市場開拓・急成長**を目指す
- ✓ **投資**による資金調達

スタートアップとは

「スタートアップ企業とは、テクノロジーによる**イノベーション**によって
新たなビジネスモデルを作り、ベンチャーキャピタルなどからの資金調達を
元手に**急成長**を目指して、株式公開や大企業による買収を狙うもの」

— PayPal共同創業者ピーター・ティール

スタートアップとは

今勢いのあるスタートアップはどんな会社？

スタートアップとは



評価額 1,400億ドル



評価額 1,270億ドル



評価額 1,000億ドル

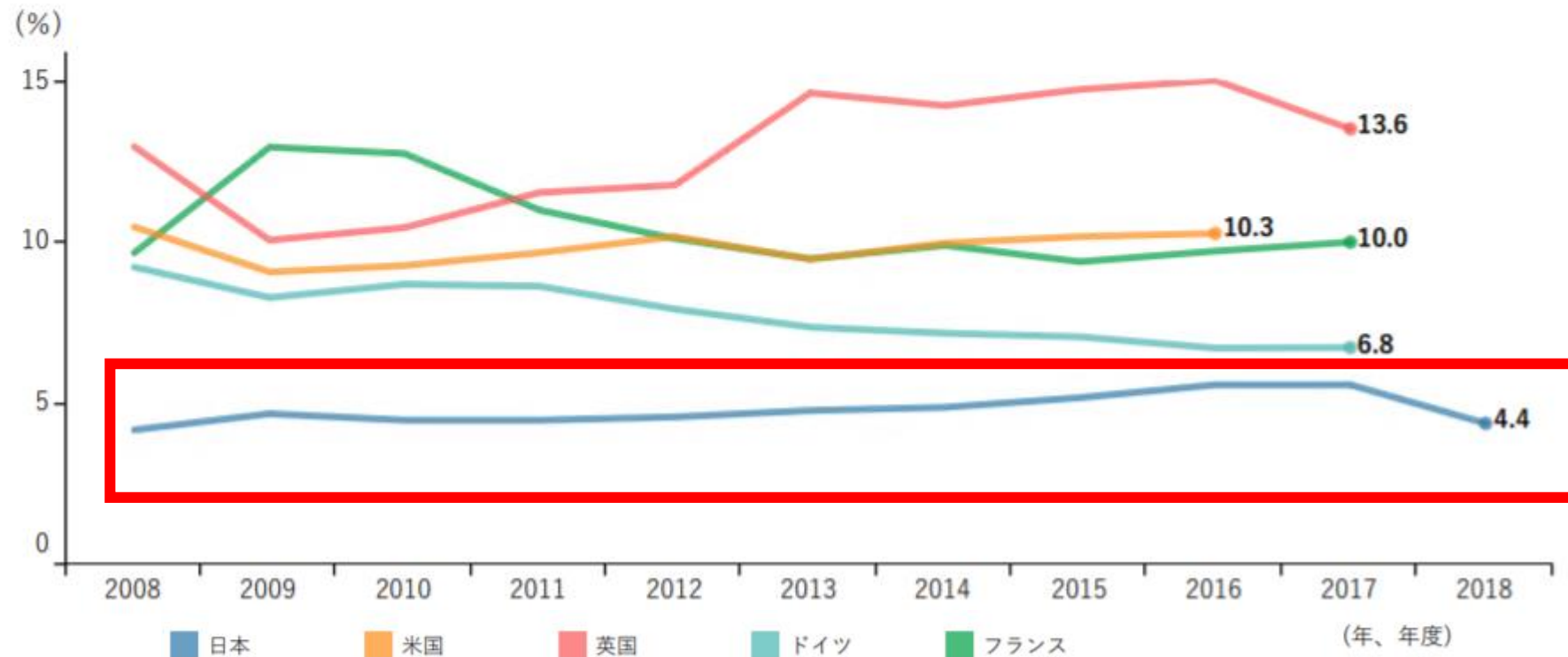
本日の内容

- 1) 自己紹介
- 2) スタートアップとは？
- 3) なぜスタートアップを支援するのか**
- 4) 神戸市のスタートアップ支援
- 5) 実際の働き方

開業率の国際比較

第1-3-9図 開業率の国際比較

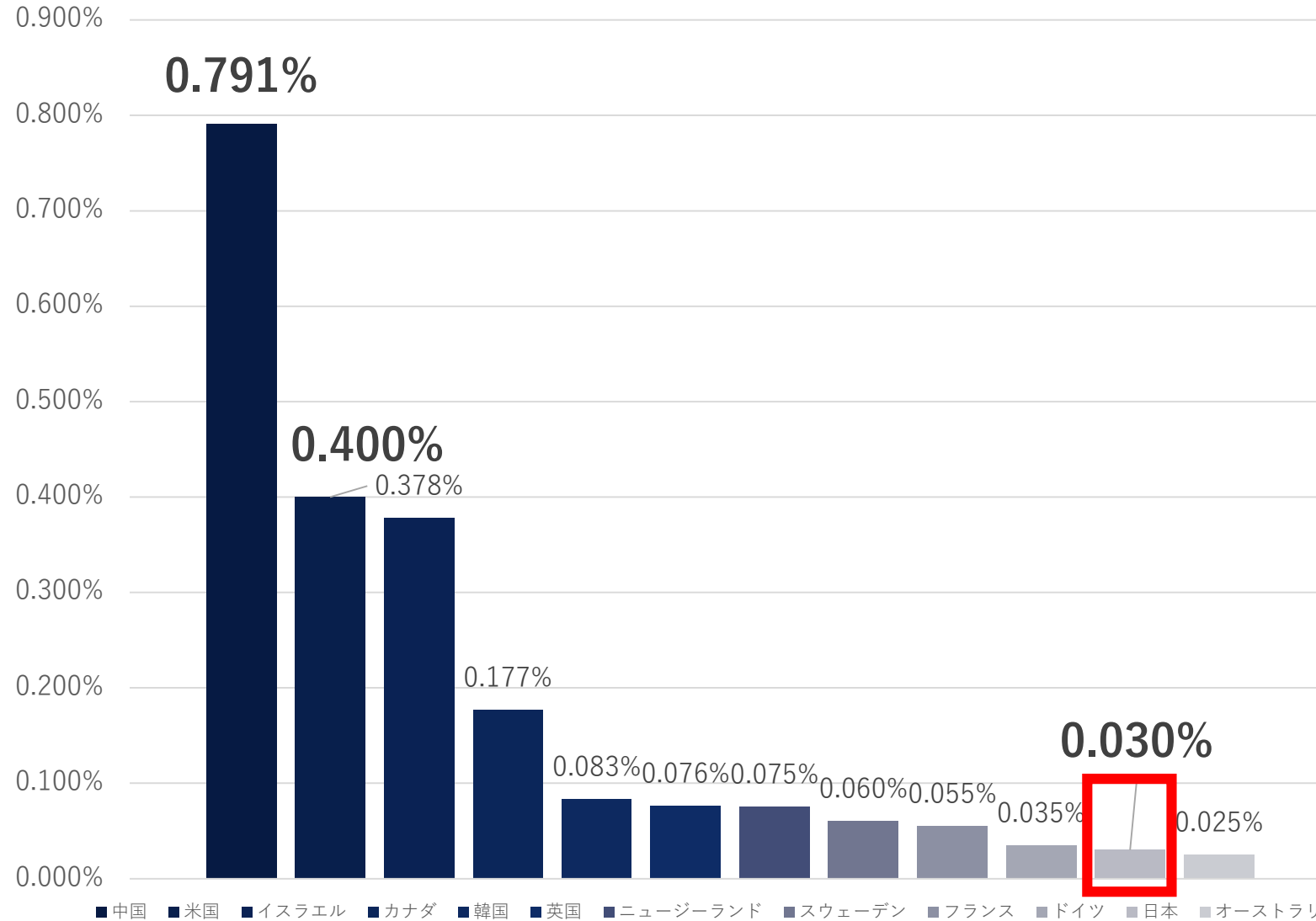
①開業率



資料：日本：厚生労働省「雇用保険事業年報」、米国：United States Census Bureau「The Business Dynamics Statistics」、英国・ドイツ・フランス：eurostat

(注)国によって統計の性質が異なるため、単純に比較することはできない。

VC投資額の対GDP比



日本と世界の比較

▶ ユニコーン企業数

12社

1,044社

2022年10月時点

▶ GDP

5.2兆ドル

85.9兆ドル

2019年末時点

なぜスタートアップを支援するのか

A. 日本経済の活性化のため、大きな可能性を秘めたスタートアップの支援が重要

スタートアップ育成5カ年計画

- 2022年11月、岸田政権より発表
- スタートアップへの投資額を5年間で10倍超の10兆円規模に
- スタートアップ10万社、ユニコーン企業100社創出
- アジア最大のスタートアップハブとして世界有数のスタートアップの集積地を目指す

スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市

スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム

東京都、川崎市、横浜市、和光市、つくば市、茨城県など



Central Japan Startup Ecosystem Consortium

愛知県、名古屋市、浜松市など



大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム

大阪市、京都市、神戸市など



福岡スタートアップ・コンソーシアム

福岡市など



2016 Starting

全国に先駆け、スタートアップ支援事業開始

米国VC“500Global”と連携したアクセラレーションプログラムから始まり、官民協働プロジェクト“Urban Innovation Kobe”では自治体が抱える課題解決にも取り組んできました。

Achievements

支援社数延べ500社以上、資金調達額140億円の累積実績

2020年には内閣府グローバル拠点都市に選ばれ、国連機関UNOPSのインキュベーションセンターが開設するなど、これまでの着実な成果が評価され、着々と支援環境が整い始めています。

2025 Vision

イノベーションが生まれやすい環境をつくり 革新的に課題を解決

千差万別なスタートアップの実情にあう支援で、支援社数1000社を目指します。グローバルメンター制度など、挑戦する人の”機動力”を高める支援環境を提供していきます。

本日の内容

- 1) 自己紹介
- 2) スタートアップとは？
- 3) なぜスタートアップを支援するのか
- 4) 神戸市のスタートアップ支援**
- 5) 実際の働き方

主なスタートアップ支援事業

育成

500Globalによる起業家育成プログラム

- ・ シリコンバレーVCと自治体による起業家育成
- ・ 年間100社を支援対象、半数以上が海外から
- ・ 過去5年間で約140億円の資金調達に成功



実践

Urban Innovation KOBE

- ・ スタートアップと市職員による協働
- ・ 社会・行政課題の解決を目指す、実証プロジェクト



挑戦

SDGs CHALLENGE

- ・ 国連機関と連携、SDGs等の国際的な課題解決を目指す
- ・ 起業経験の深い各分野のエキスパートによる個別指導
- ・ 毎年20社程度の事業成長・海外進出を支援

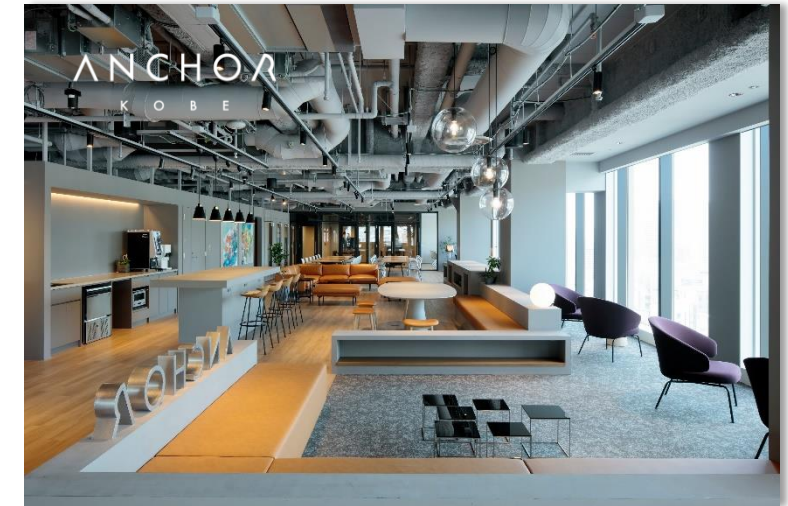


主なスタートアップ支援事業

共創

ビジネススクエアANCHOR KOBE

- ・ スタートアップや医療産業都市進出企業、神戸の地場ものづくり企業、大学など、様々な知が集結・交流し、新たな価値を創発する場
- ・ 産学官連携の実践的なプログラムを実施
- ・ 21年4月開設



資金

ひょうご神戸スタートアップファンド

- ・ 県市協調による官民連携ファンドを創設 ※21年3月
- ・ 総額10億円超、期間10年（延長あり）
- ・ グローバル拠点都市のスタートアップ育成プログラムなどと連携し、広く世界からひょうご神戸に集まり、成長するスタートアップに投資を行う



主なスタートアップ支援事業

創出

KOBEワカモノ起業コミュニティ

- 高校生～若手社会人を中心とする起業家関心層を対象にしたコミュニティ形成、先輩起業家との相談会や交流会

スタートアップスタジオ

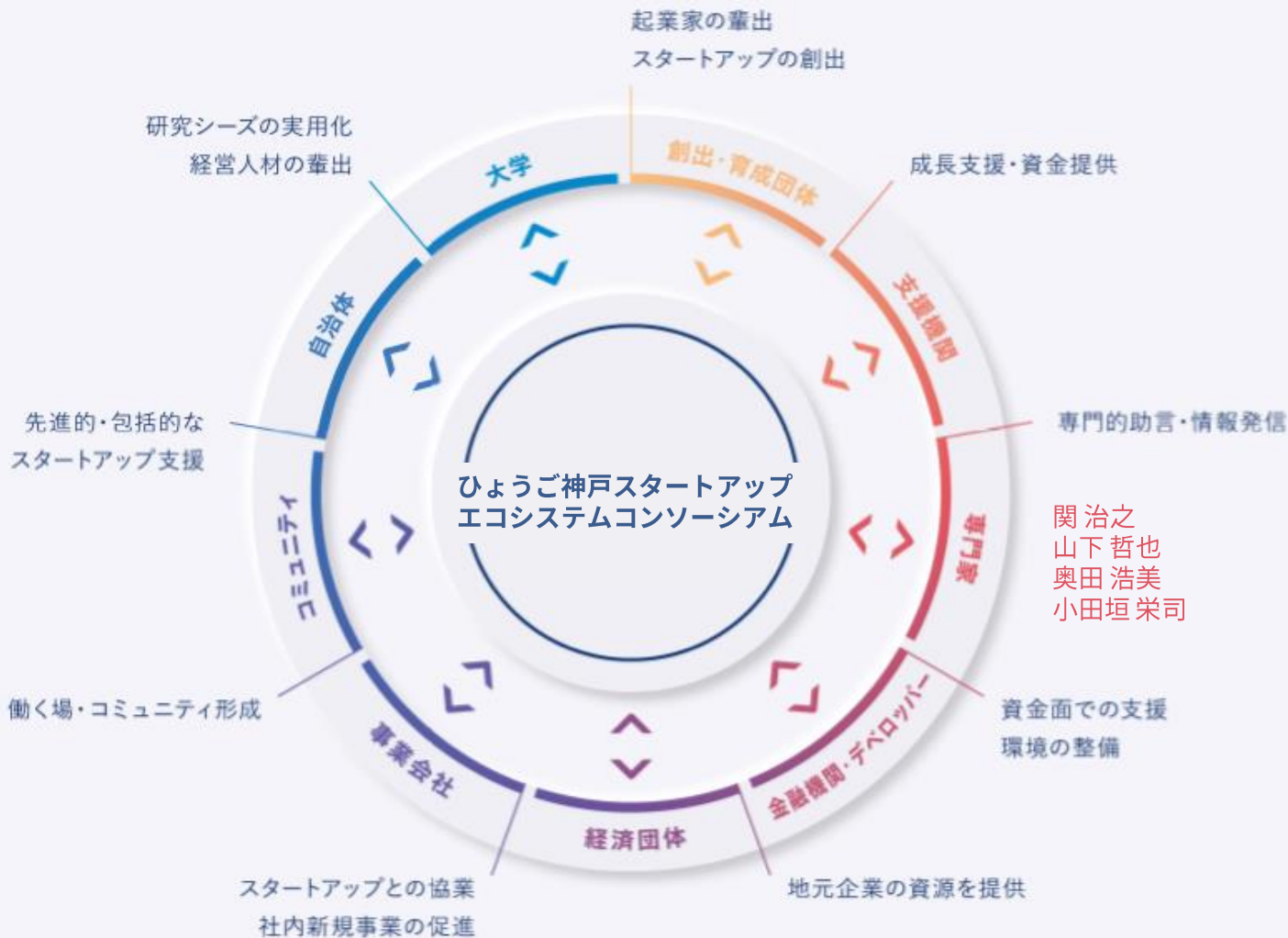
- 事業アイデアがある起業前の人材を「市内外から集め、育て、スタートアップとして市内で法人化し、市場に送り出す」プロジェクト

神戸エンジニアラボ

- プログラミングを学ぶ若者を対象にしたコミュニティ形成、プログラミングサロン、学習支援補助、企業インターンなど



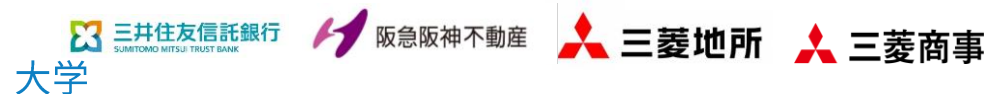
エコシステム形成推進主体について



支援機関



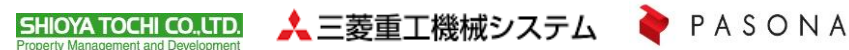
金融機関・デベロッパー等



大学



事業会社



経済団体



MISSION

神戸から、
世界の人々の
毎日を
より健康で
豊かにする。

**From Kobe,
We make everyday
Healthier and Richer
For people around the world**



Life-Tech
KOBE KOBE
STARTUP
ECOSYSTEM

テクノロジーとサイエンスで 未来の生活をつくる街

世界の医学研究を牽引する街となった神戸。
それは、1995年に起きた震災からの復興を契機に、
世界をリードする医療研究機関や企業を誘致した成果です。
そして今、神戸は“Life-Tech KOBE”という新たな挑戦を始めます。

Lifeとは、生命のことであり、また人生のことでもあります。
そう、人が生きるためのすべてが、この4文字には含まれているのです。
医療を筆頭に、食料や睡眠など生命活動に関わるものや、
農業や海洋など地球環境に関わるもの、
そして教育や交通など生活サービスに関わるものなど、
この神戸に多くのテクノロジーやサイエンスが集まり、
より健康で豊かな生活を実現するための実験場へと、神戸は変わろうとしています。

そのためにも、行政だからできることを、圧倒的な熱量で、
今までの行政ではできなかったことを、圧倒的なスピードで、
人の未来と地球の未来を、本気で変えたいというあなたと、
全力で一緒に走っていきたいと考えています。

1

圧倒的 主体性。

スタートアップの事業を他人ごととして傍観するのではなく自分ごととし、スタートアップに負けないスピード感とマインドで行動します。

2

好奇心と リスペクト。

前例踏襲から新しいことは生まれない。自分たちの理解できないことも含め、多様な人、多様な物事に興味を持ち、深いリスペクトをもって接します。

3

つなぐ、 つなぐ、 つなぐ。

スタートアップの「想い」を「形」にすべく、人と人、人と企業を適切に、かつ熱く、つなぎまわります。

4

共に 成長する。

スタートアップを「支援する」という一方的な形ではなく、業務を通じて自らの経験と知見を拡げ、自らも「成長」します。

5

Think Big & Global.

既成概念にとらわれず未来志向で大きな構想を描き、神戸からグローバルを視野に入れた事業展開に伴走します。

本日の内容

- 1) 自己紹介
- 2) スタートアップとは？
- 3) なぜスタートアップを支援するのか
- 4) 神戸市のスタートアップ支援
- 5) 実際の働き方**

1日のスケジュール



外部人材の登用

- スタートアップと同じ目線で伴走できる外部人材を「イノベーション専門官」として登用
- 民間企業の経験を活かし、神戸市職員として3年任期で働く
- 「神戸市は他の自治体と違い、スタートアップと同じスピード感」と言われる

IT・通信



中沢 久

米国西海岸



笠置 淳信

社会課題



西川 嘉紀

コミュニティ



織田 堯

マーケティング



高見 直矢

Thank You!

For your Time



Life-Tech
KOBE KOBE
STARTUP
ECOSYSTEM

